

# 2011年度 第2四半期決算説明会

第88期:第2四半期累計期間(2011年4月1日~2011年9月30日)

2011.11.10



太平洋互業株式会社

# 目次

1. 会社の概要
2. 2011年度第2四半期業績実績
3. 2011年度業績予想
4. 長期ビジョン・中期経営計画
5. トピックス

## 本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

# 1-1 当社の概要

- ◆創業            1930年8月
- ◆代表者        社長 小川信也
- ◆資本金        43億2千万円
- ◆株式           東証・名証一部上場('70年8月)(証券コード 7250)

セグメント		プレス樹脂製品 事業	バルブ製品事業		その他	合計	
事業			タイヤバルブ・制御機器事業				TPMS事業
単 独	売上高('11予想)	401億円    70%	98億円                    17%		76億円    13%	—	575億円
	主要工場	西大垣、東大垣 養老、九州、東北	美濃、北大垣		北大垣	—	国内7工場
連 結	売上高('11予想)	548億円    73%	199億円                    26%		3億円    1%	750億円	
	人 員	1,930人	970人		80人	3,100人	
	海外生産拠点	台湾、米国 中国	台湾、韓国 タイ、中国		—	—	5ヶ国 8会社
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ プライムアースEVイナジー	ブリヂストン、横浜ゴム、住友ゴム、東洋ゴム イノアック、ミシュランタイヤ、トピー工業 デンソー、豊田自動織機、サンデン ヴァレオ、パナソニック、東芝、シャープ		トヨタ ホンダ 日産	地域企業	
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ バルブコア 空調用制御弁		TPMS	ゴルフ場 ソフトウェア 保険代理店	

# 1-2 企業結合の状況

■ プレス樹脂製品事業    ■ バルブ製品事業

## 1. 連結会社：12社

区分	会社名	事業分野			主な事業内容	設立	議決権比率	'11売上高予想	人員	
		プレス	バルブ	その他						
国内	ピーアイシステム株式会社 (PSC)			●	情報処理、ソフト開発・販売	1987年	100%	4億円	60人	
	太平洋開発株式会社 (PDC)			●	ゴルフ場資産管理(養老CC)	1972年	66.5%	2億円	20人	
	太養興産株式会社 (TYC)			●	ゴルフ場運営(養老CC)	2005年	(PDC) 100%	—	—	
	太平洋産業株式会社 (TSC)	●			自動車用プレス製品の製造・販売	1974年	100%	12億円	30人	
	国内連結会社 計								19億円	110人
海外	米国	Pacific Industries USA Inc. (PIU)	(持株会社)			下記米国会社の統括管理	1988年	100%	—	—
		Pacific Manufacturing Ohio Inc. (PMO)	●	●		自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1999年	(PIU) 100%	121億円	430人
	台湾	太平洋汽門工業股份有限公司 (PVT)	●	●		自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1984年	99.5%	44億円	210人
	韓国	太平洋バルブ工業株式会社 (PVI)		●		バルブ関連製品の製造・販売	1987年	100%	11億円	80人
		太平洋エアークントロール工業株式会社 (PAC)		●		カーエアコン部品の製造	2004年	(PVI 16%) 84%	10億円	90人
	タイ	Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd. (PIT)		●		バルブ関連製品の製造・販売	1989年	75%	11億円	150人
	中国	青島太平洋宏豊精密機器有限公司 (QPH)		●		空調用バルブ関連製品の製造・販売	2000年	55%	7億円	180人
		天津太平洋汽車部件有限公司 (TPA)	●			自動車用プレス製品の製造・販売	2005年	100%	38億円	230人
海外連結会社 計								245億円	1,370人	

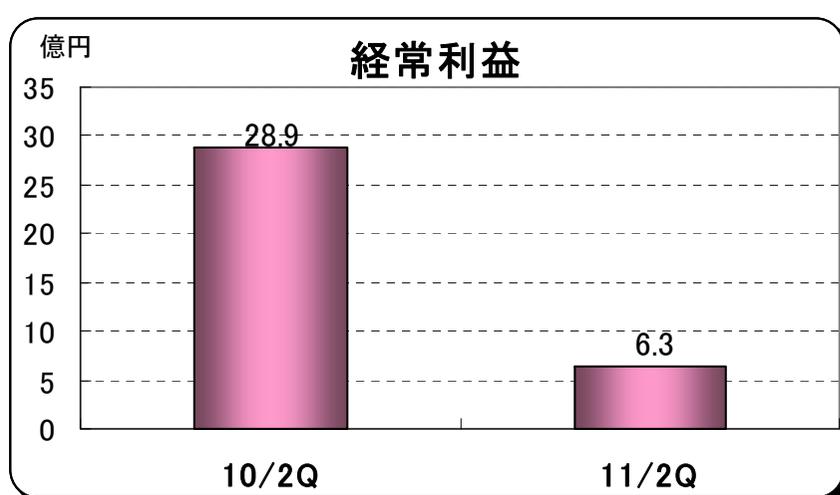
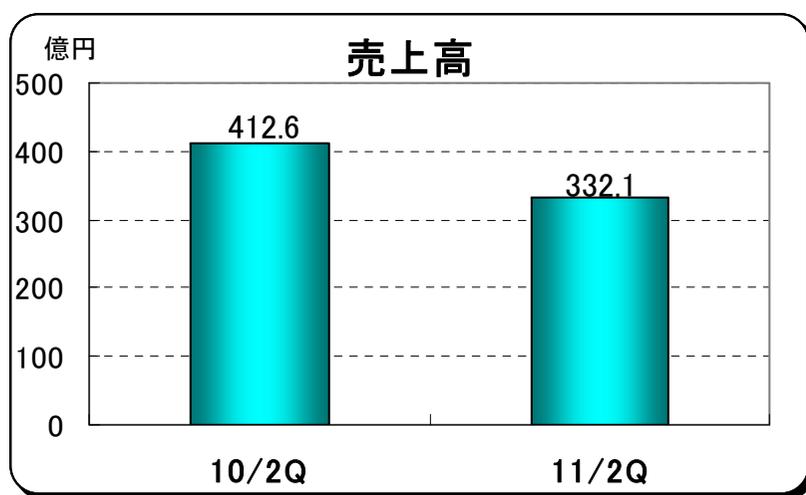
## 2. 持分法適用会社：1社

国内	PECホールディングス株式会社 (PEC)	●	●		オートフューズ・電気小物製品の製造・販売	1961年	20.0%	140億円	640人
----	-----------------------	---	---	--	----------------------	-------	-------	-------	------

# 2-1 第2Q 連結業績

(百万円、%)

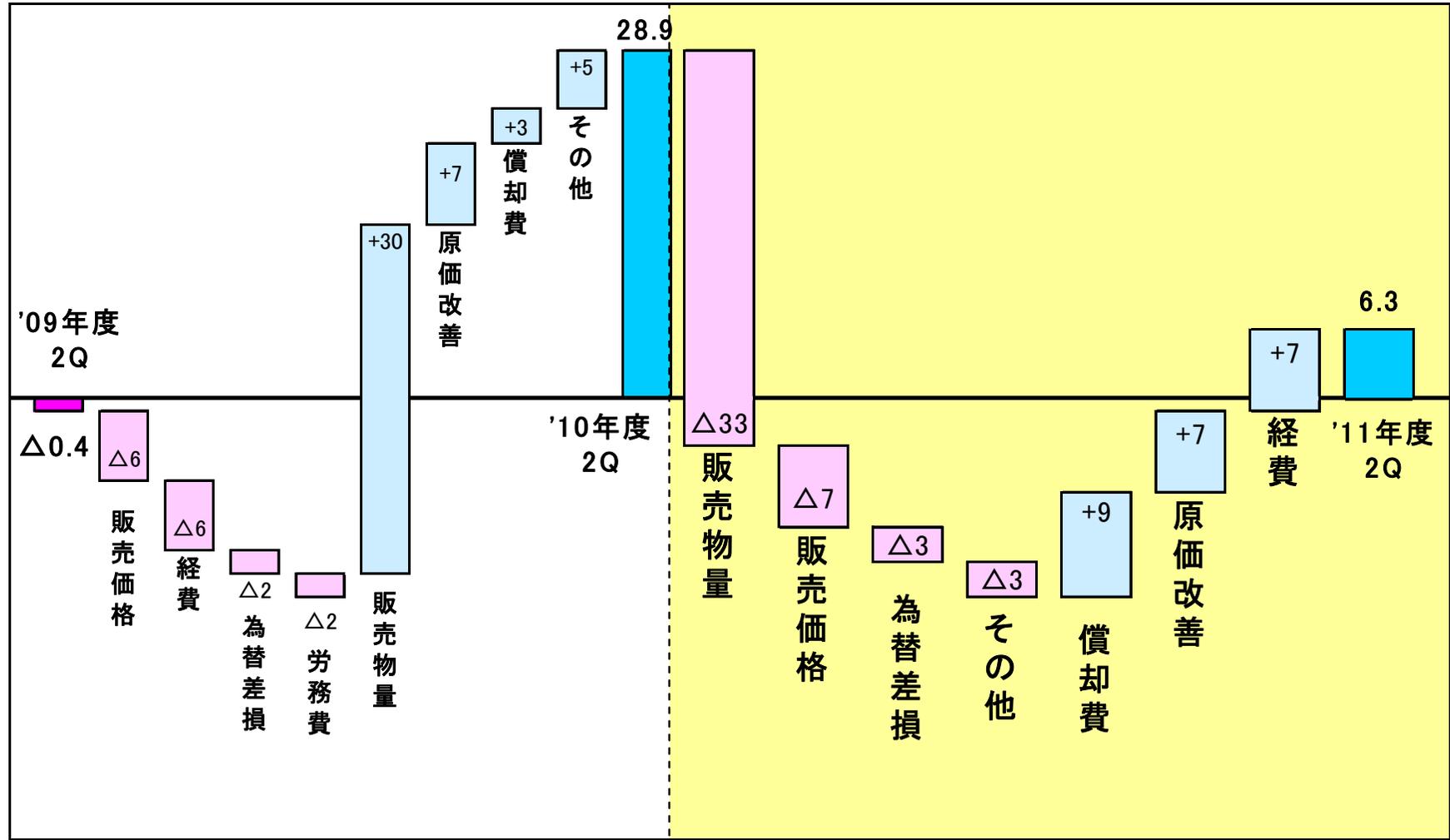
	前第2 四半期	第2四半期				前四半期比		
		7/29 前回予想値	実績	前回予想比		増減	増減率	
				増減	増減率			
売上高	41,263	31,500	33,215	1,715	+5.4	△8,048	△19.5	2期振りの減収
営業利益	2,892 7.0%	300 1.0%	490 1.5%	190	+63.3	△2,401	△83.0	2期振りの減益
経常利益	2,891 7.0%	500 1.6%	639 1.9%	139	+27.8	△2,252	△77.9	2期振りの減益
四半期純利益	1,428 3.5%	400 1.3%	569 1.7%	169	+42.3	△858	△60.1	2期振りの減益



# 2-2 第2Q 連結利益増減要因

《10年度2Q 対 09年度2Q》  
 経常利益 +29億円

《11年度2Q 対 10年度2Q》  
 経常利益 △23億円

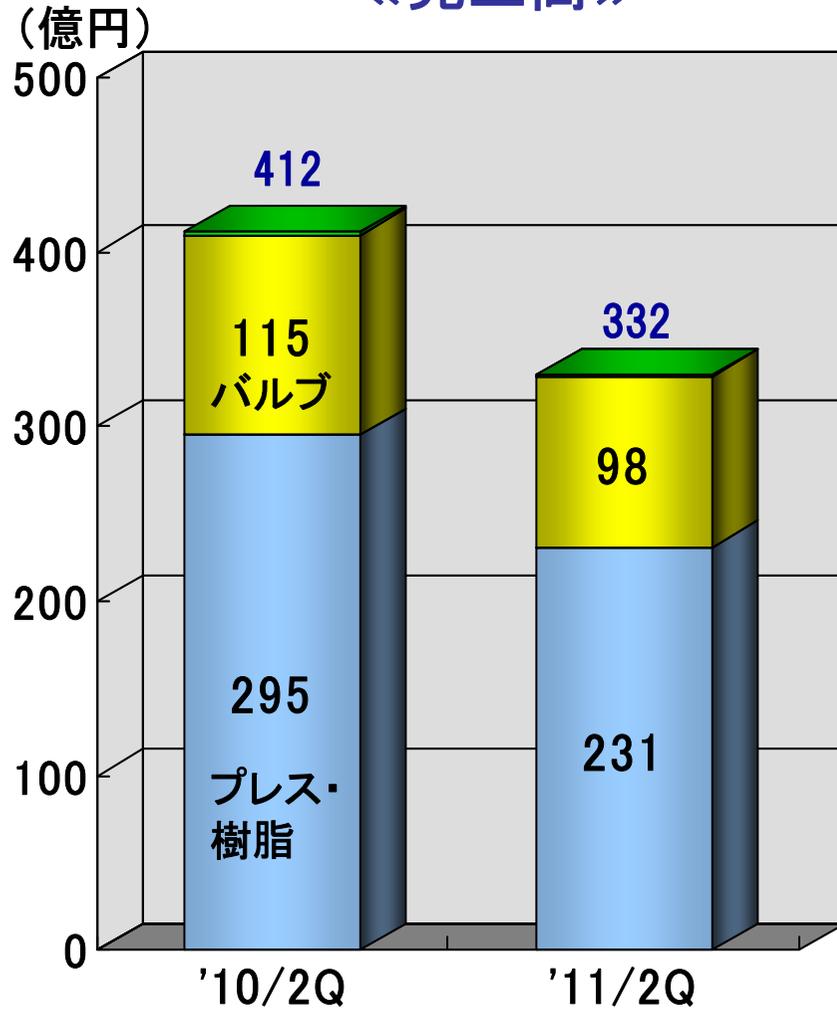


'10年度2Q利益増減要因

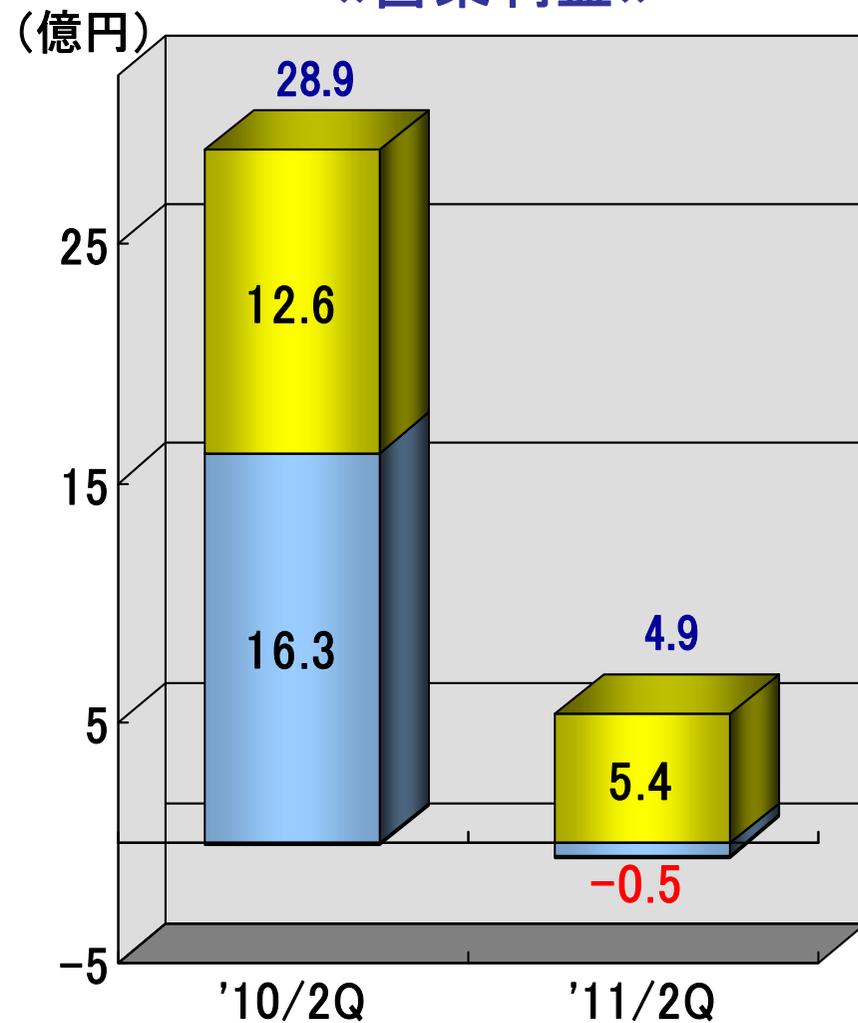
'11年度2Q利益増減要因

# 2-3 第2Q 連結事業別セグメント

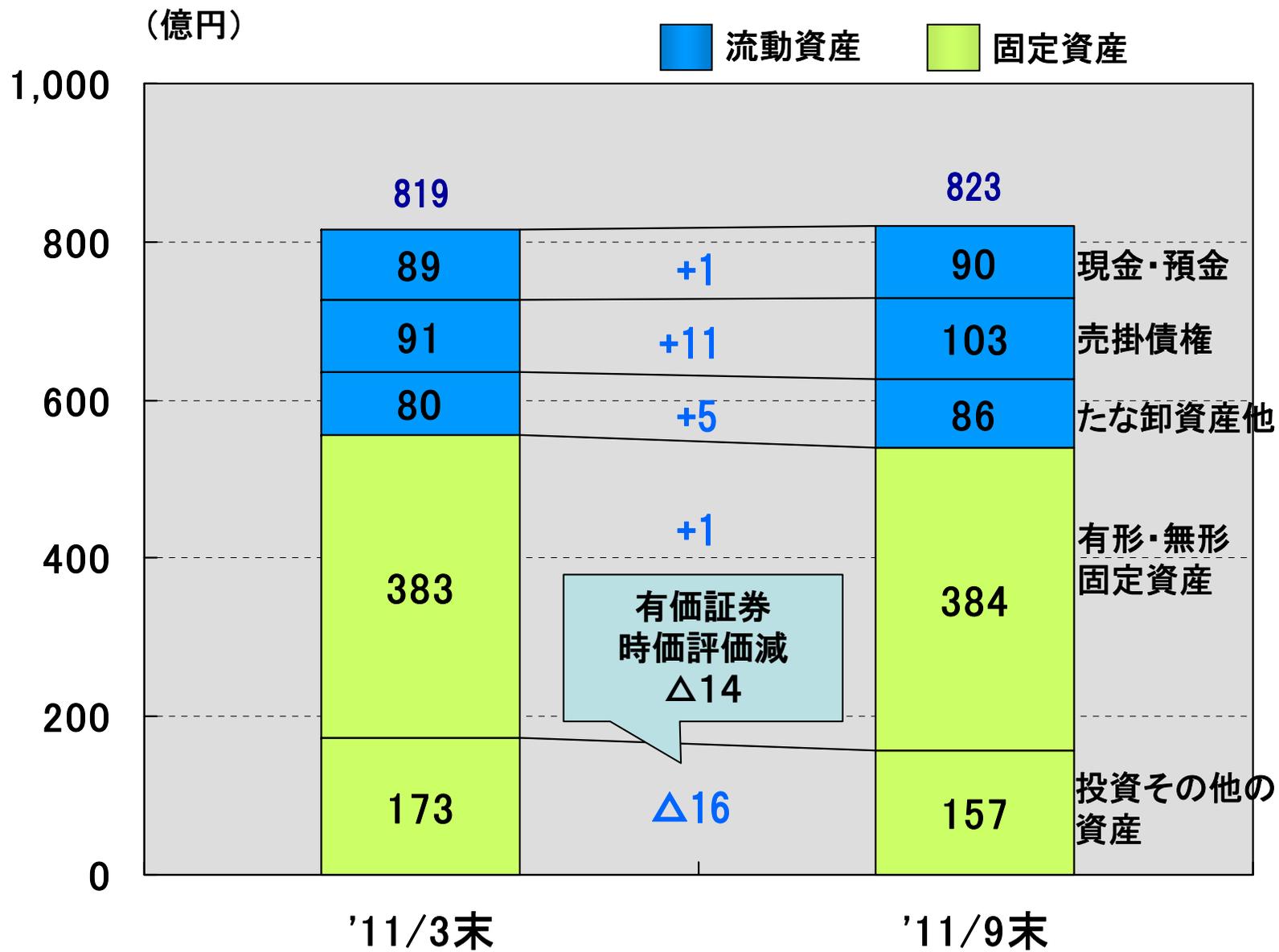
《売上高》



《営業利益》



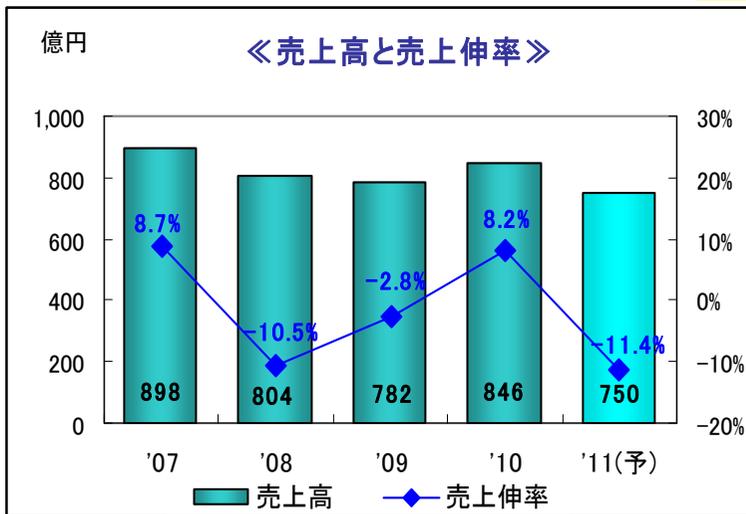
# 2-4 第2Q 連結総資産 増減内訳



# 3-1 通期 連結業績予想

[百万円]

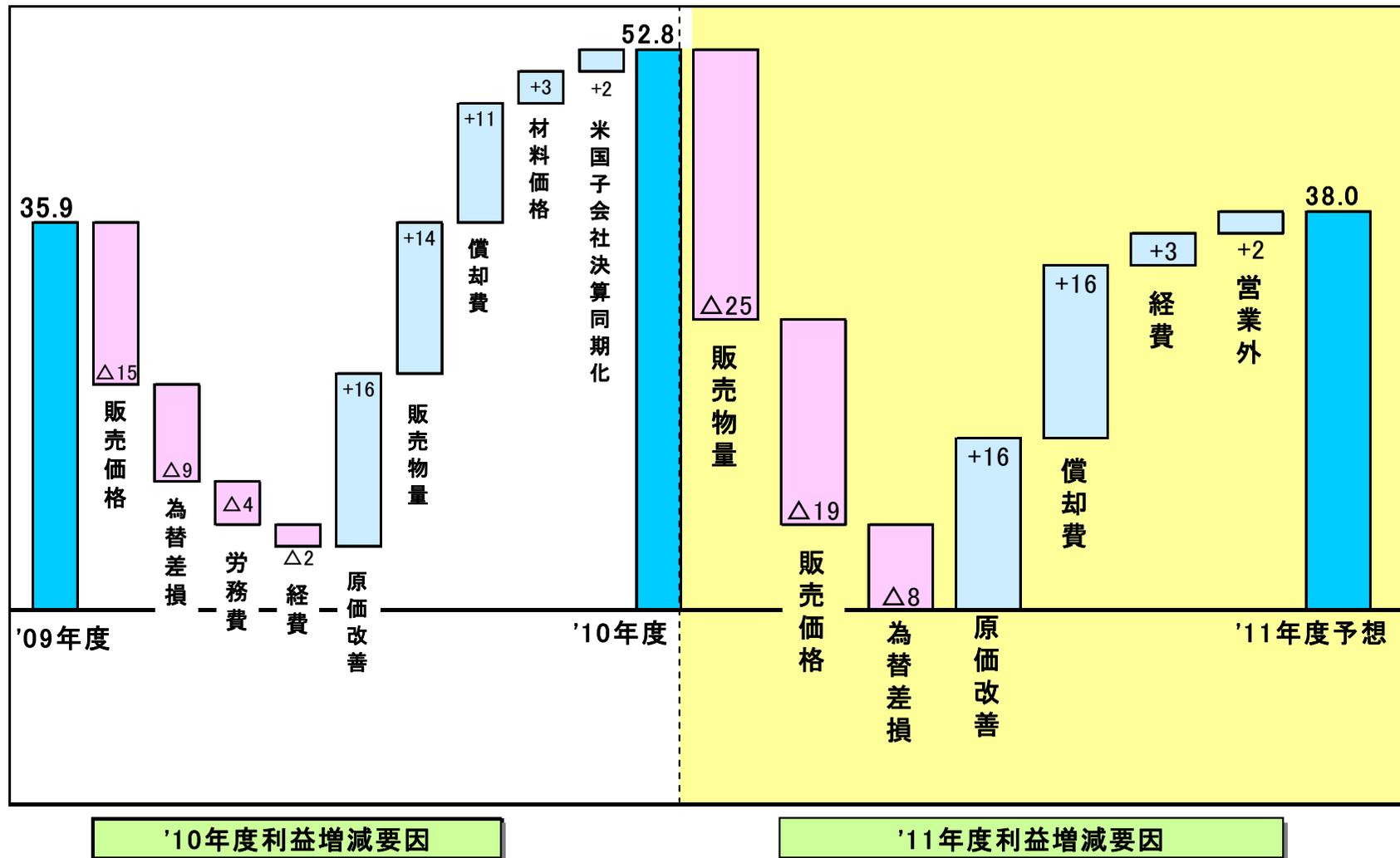
	'09	'10	'11 (7/29予想)	'11 (今回予想)	前回予想比		前期比		連単 倍率	
					増減	増減率	増減	増減率		
売上高	78,202	84,631	75,000	75,000			△9,631	△11.4	1.3	2期振り減収
営業利益	3,073	5,151	3,500	3,500			△1,651	△32.1	1.8	3期振り減益
経常利益	3,595	5,281	3,800	3,800			△1,481	△28.1	1.4	3期振り減益
当期純利益	2,498	2,969	2,500	2,500			△469	△15.8	1.6	3期振り減益
経常上利益高率	4.6%	6.2%	5.1%	5.1%			△1.1%			
ROE	7.3%	8.2%	6.9%	6.9%			△1.3%			
ROA	4.0%	6.0%	4.6%	4.6%			△1.4%			
一株当たり純資産 (円)	677	684	677	677			△7	△1.0		



# 3-2 通期 連結利益増減要因

《10年度 対 09年度》  
 経常利益 +16億円

《11年度予想 対 10年度》  
 経常利益△15億円



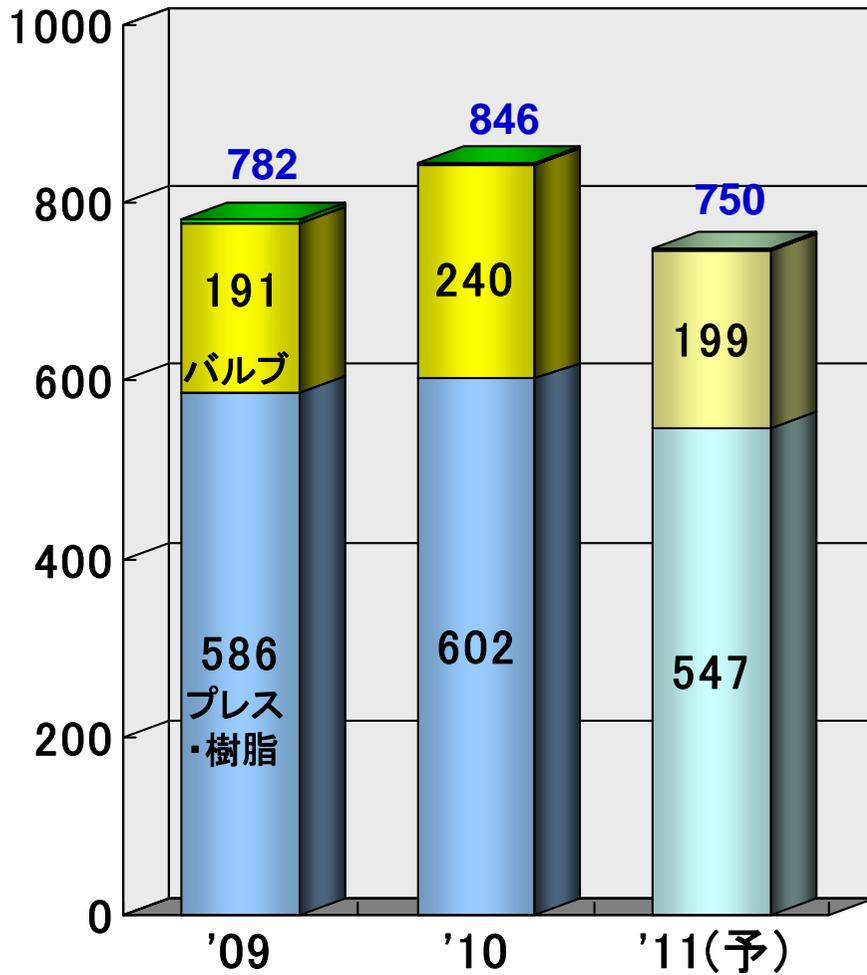
'10年度利益増減要因

'11年度利益増減要因

# 3-3 通期 連結事業別セグメント

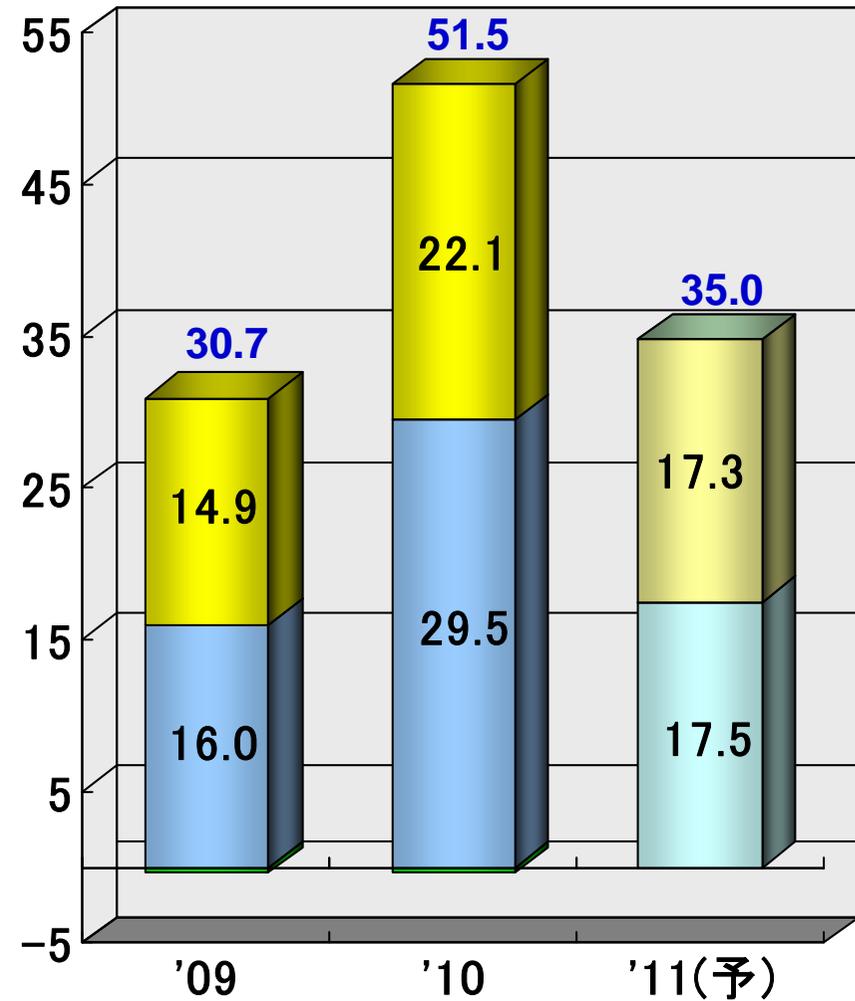
(億円)

《売上高》



(億円)

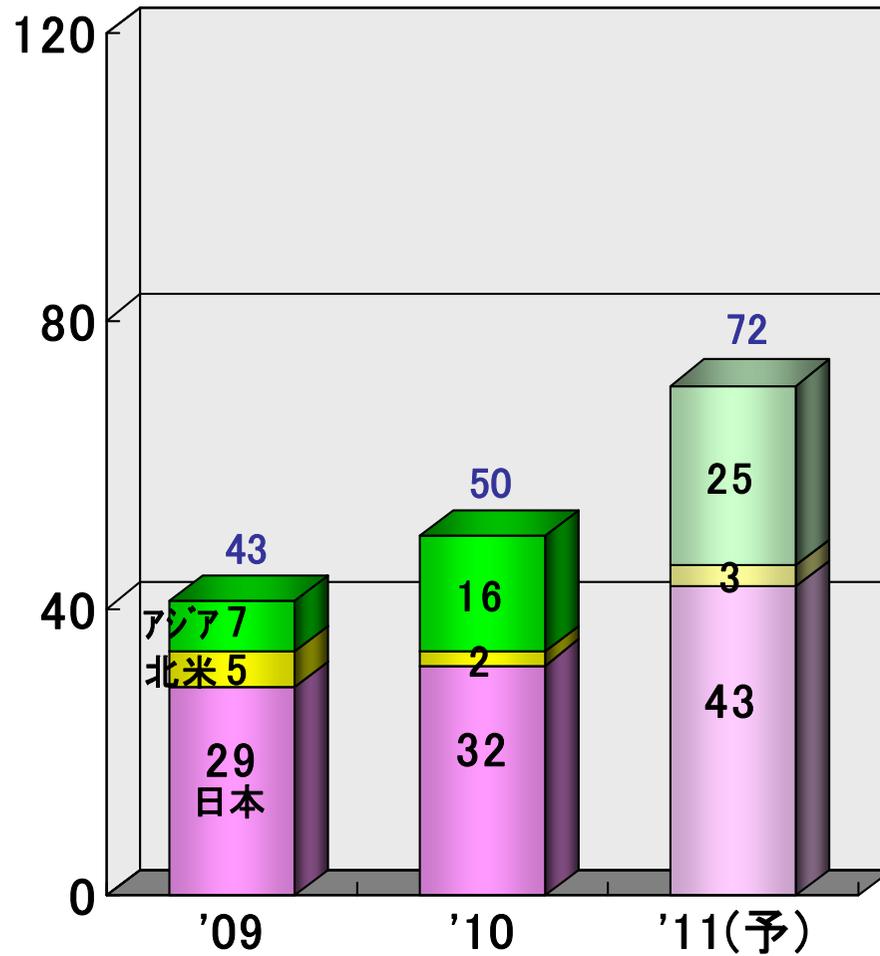
《営業利益》



# 3-4 通期 連結設備投資・減価償却費

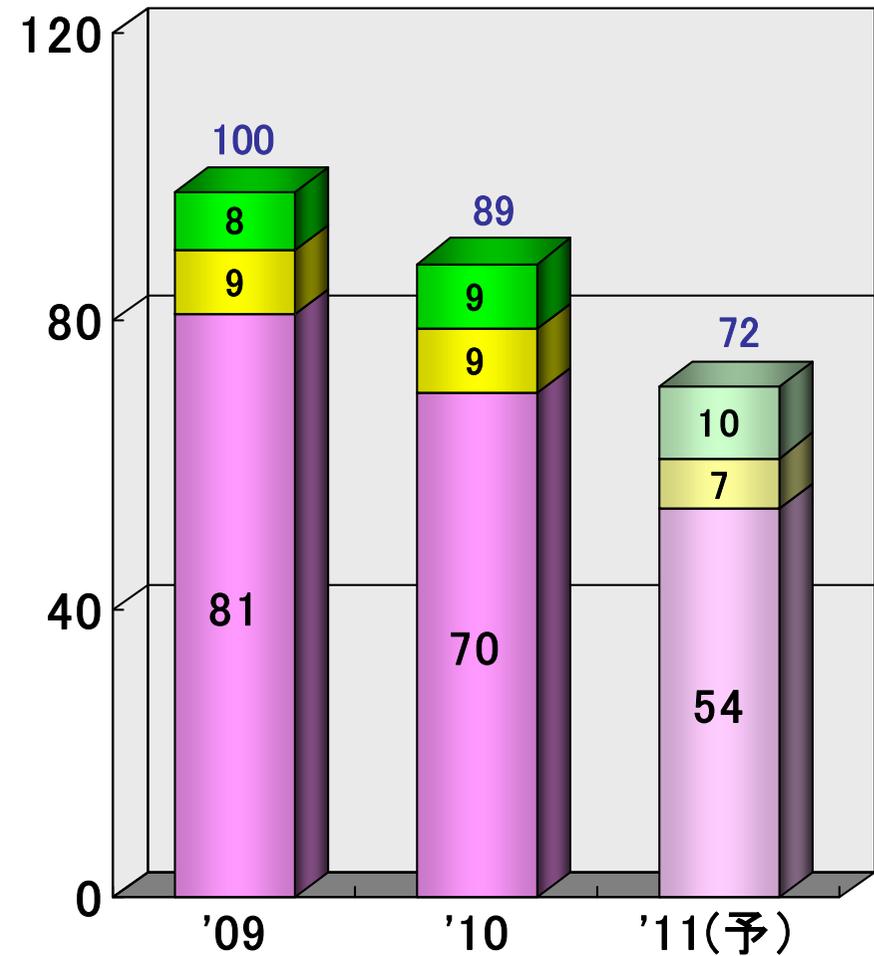
(億円)

《設備投資》



(億円)

《減価償却費》



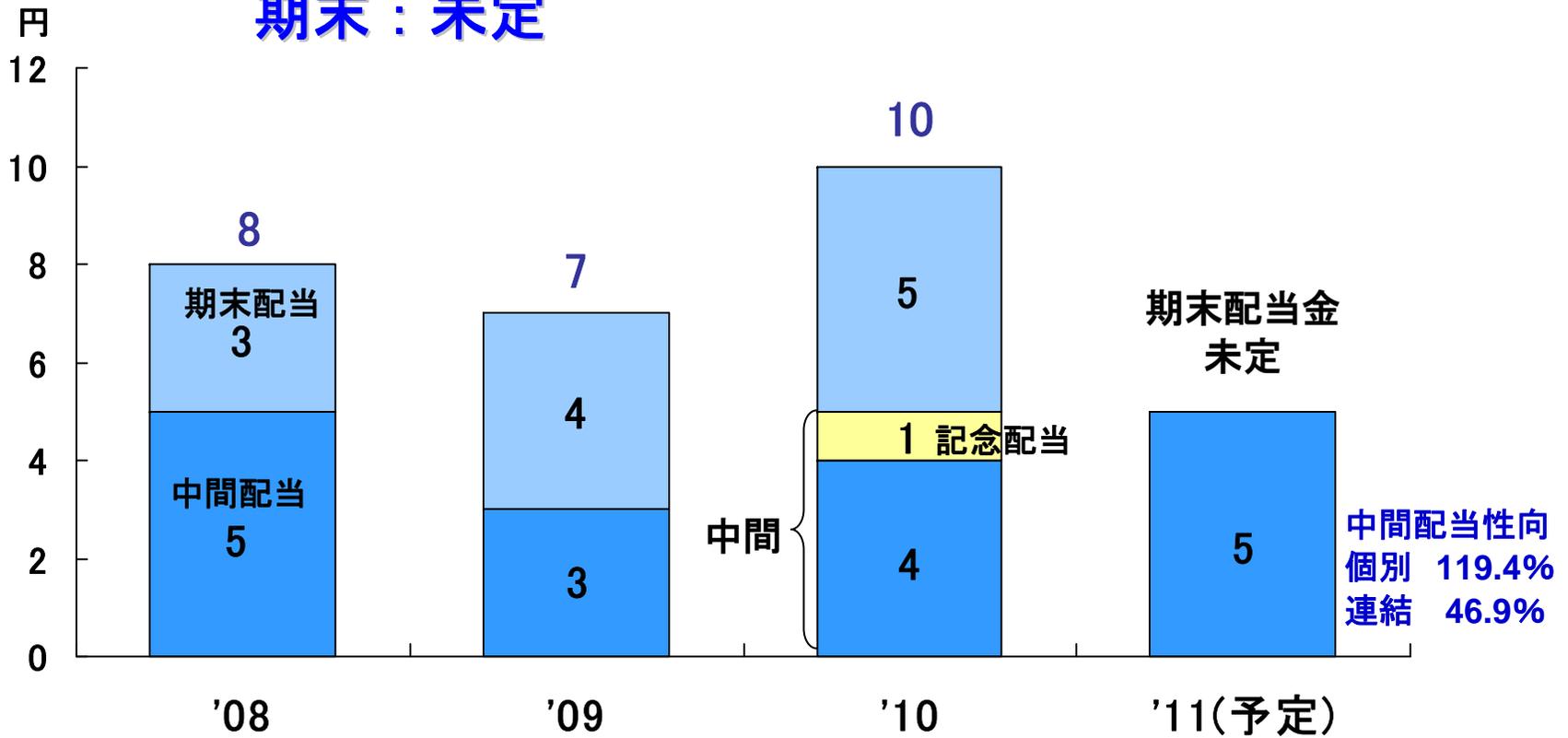


# 3-6 株主還元

## 2011年度配当

中間：5円/株  
 期末：未定

配当総額：269百万円



## 3-7 2011年度 上期・下期比較

(百万円、%)

	10年度		11年度		上期対下期	
	上期	下期	上期	下期	増減	増減率
売上高	41,263	43,368	33,215	41,785	8,570	+25.8
営業利益	2,892	2,259	490	3,010	2,520	+514.3
経常利益	2,891	2,390	639	3,161	2,522	+394.7
当期純利益	1,428	1,541	569	1,931	1,362	+239.4

### 2011年度下期予想対上期実績利益増減要因

(単位:億円)

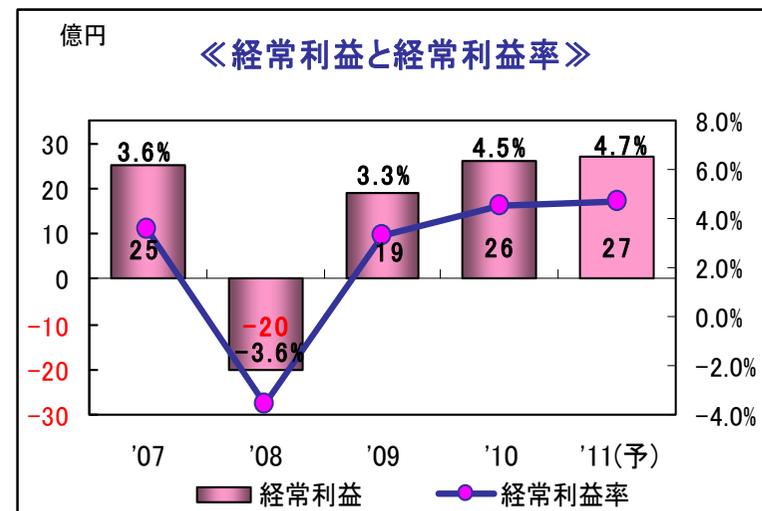
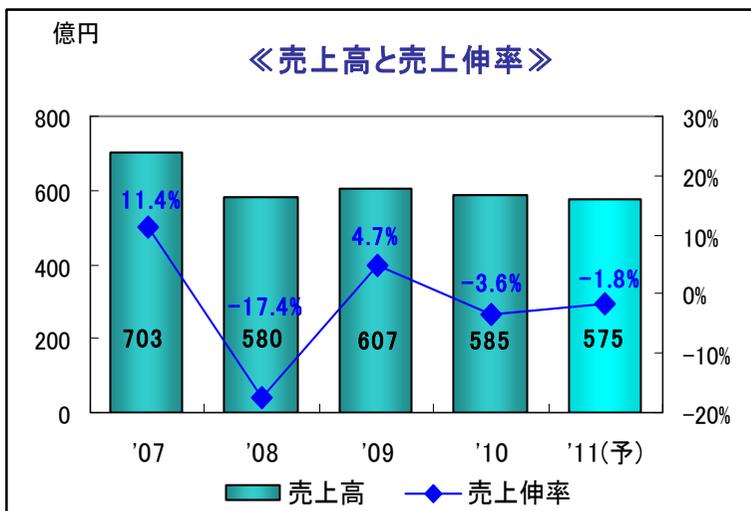
プラス要因		マイナス要因	
販売物量増加	38	販売価格の低下	△ 9
原価改善	6	為替差損	△ 2
労務費減	3	経費増	△ 8
		減価償却費増	△ 1
		その他	△ 2
計	47	計	△ 22
経常利益増減		+25	

# 3-8 <参考>通期 個別業績

[百万円]

	'10		'11		第2四半期比		前期比	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期予想	増減	増減率	増減	増減率
売上高	30,109	58,575	24,292	57,500	△5,816	△19.3	△1,075	△1.8
営業利益	1,499	2,006	△53	2,000	△1,553	-	△6	△0.3
経常利益	1,450	2,637	332	2,700	△1,117	△77.1	63	+2.4
当期純利益	685	1,439	225	1,600	△459	△67.1	161	+11.2
配当金(1株当り)	5円	10円	5円	未定	-		-	
売上利益高率	4.8%	4.5%	1.4%	4.7%	△3.4%		0.2%	
ROE	-	4.3%	-	4.8%	-		0.5%	
ROA	-	3.4%	-	3.6%	-		0.2%	
一株当り純資産(円)	599	618	601	622	2	△3.1	4	+0.6

通期  
2期連続減収  
横這い  
横這い  
3期連続増益



# 4-1 企業理念・経営理念

## 企業理念

わが社はメーカーとして、

1. 技術開発に努め、お客様の要望に応えた高いレベルの商品を提供していきます。

→ **品質理念**

2. 人間尊重を基本に、社員が“働く楽しみ”、“造る満足”を得る“場”を提供していきます。

3. 地球環境保全に努め、社会から期待される“良い会社”でありつづけます。

→ **環境理念**

## 経営理念

オープンでクリエイティブな経営  
e-companyの実現

- engineering : 技術を売り物に
- ecology : 環境に配慮し
- e-business : eビジネス
- emotional : 活かに溢れ
- efficiency : 効率的に仕事をし
- enrich : 収益を確保しながら
- enjoy : 豊かな生活を楽しむ

# 4-2 PACIFIC GLOCAL VISION 2020

< 創立100周年 2030年への一里塚として策定 >

## めざす企業像・機能のあり方

- 「連結経営」から「融合経営」へ
- 5つの“シンカ”（深化・進化・新化・真価・信加）を追求する企業

### 5つの“シンカ”



- ① 深化：改善する力
- ② 進化：革新する力
- ③ 新化：事業を起こす力
- ④ 真価：企業価値を高める力
- ⑤ 信加：信頼・信用を築く力

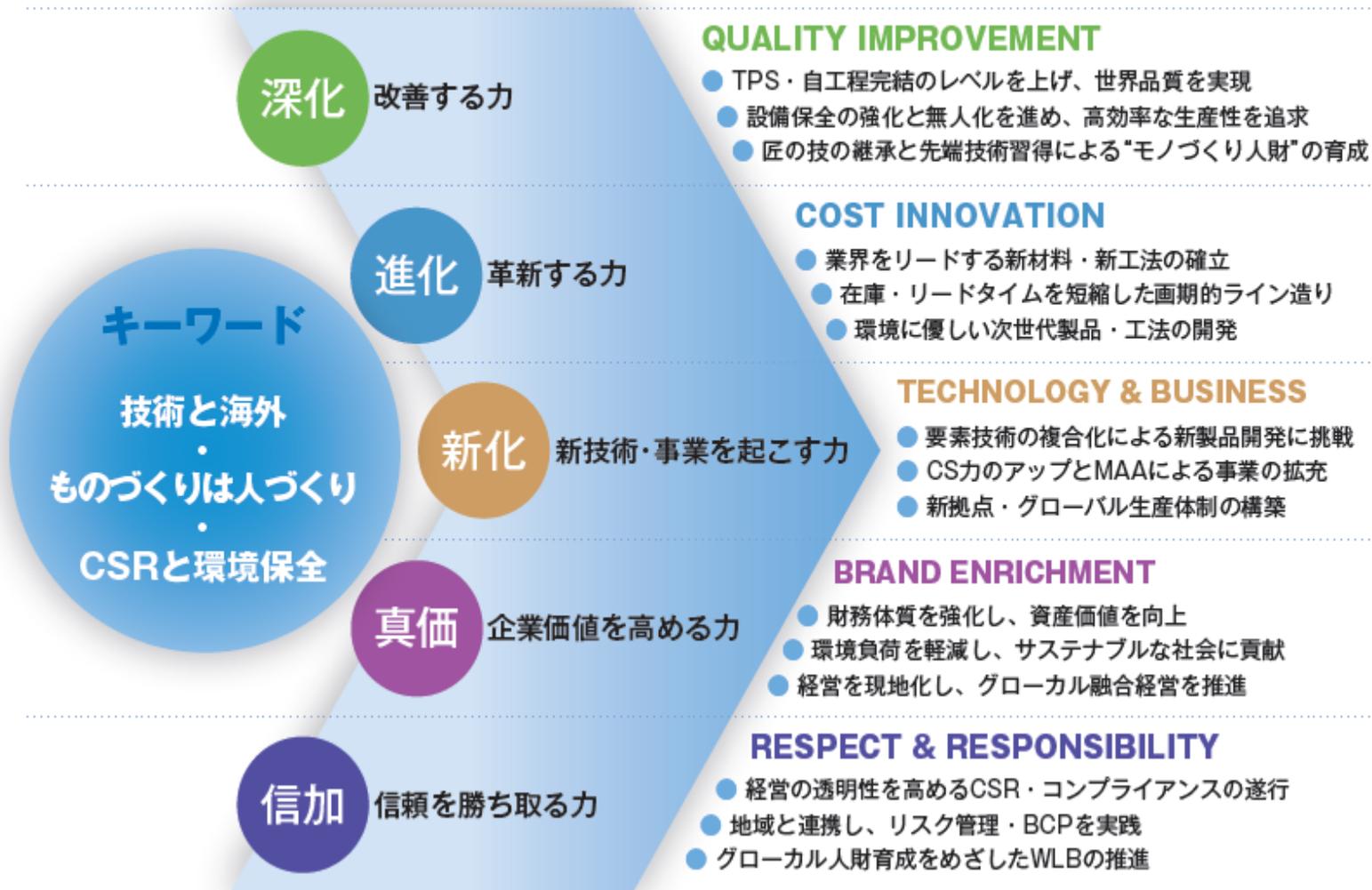
### CSRのトライアングル



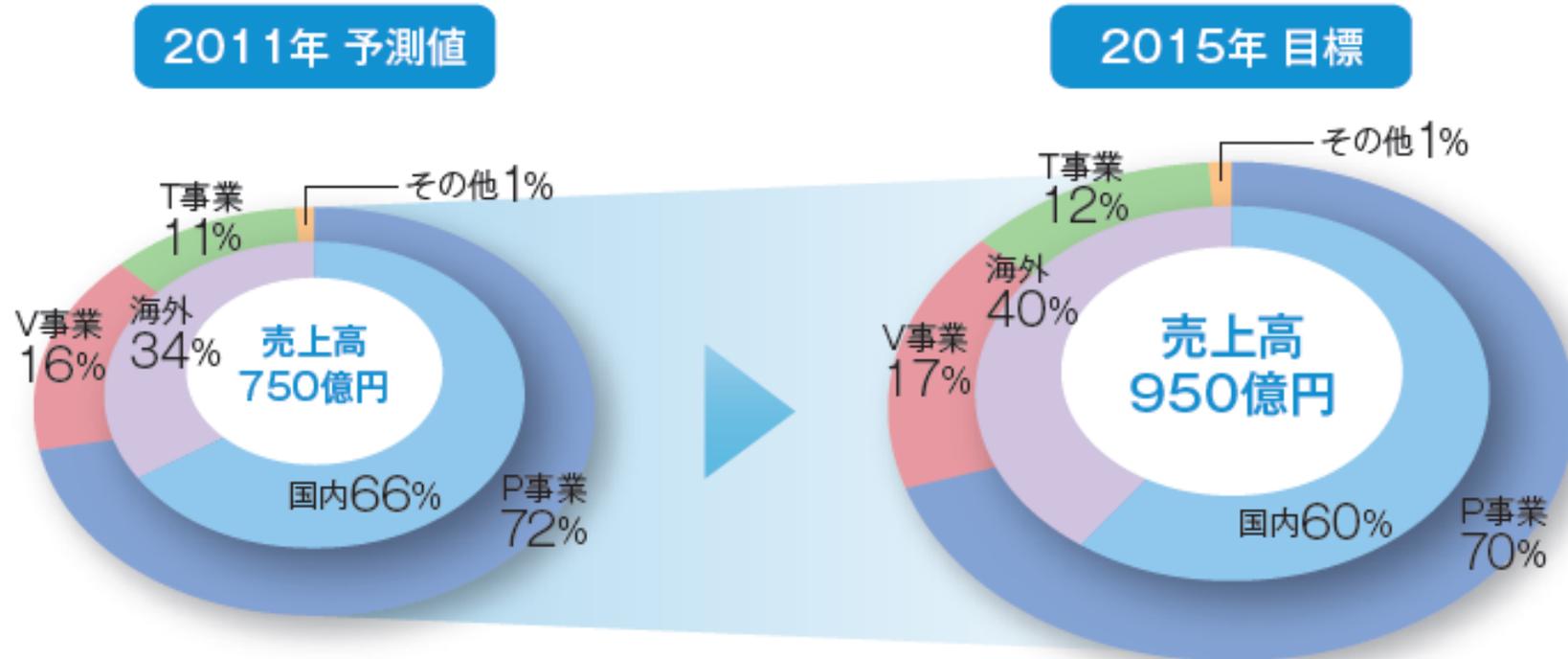
# 4-3 中期経営計画「OCEAN-15」:5つの“シンカ”

長期ビジョンの確実な実効をめざし、2015年の事業のあり方を明確にするため、「OCEAN-12」を「OCEAN-15」に改訂しました。

## トップクラスのグローバルな部品メーカーをめざす



## 4-4 中期経営計画「OCEAN-15」:2015年目標



### 2015年 目標

**連結売上高** : **950億円**

**連結経常利益率** : **6%**

**海外売上高比率** : **40%**

P事業 … プレス・樹脂加工

V事業 … タイヤバルブ・空調バルブ

T事業 … TPMS (タイヤ空気圧監視装置)

# 5-1 東日本大震災対応

## 《東北工場》

- ・国内7番目の拠点として、宮城県栗原市に設立
- ・2010年5月から稼働開始（生産品目：バッテリーケース、ホイールキャップ）

### ■被害状況（宮城県栗原市では震度7を観測）

- 社員・家族とも全員無事
- 建屋の被害軽微、設備の転倒・ズレなし

### ■初動対応

- 3/11午後 地震対策本部設置
- 宮城県栗原市に緊急支援物資輸送
- 東北工場へ復旧隊派遣



3回にわたり、ガソリンや布団セット等の緊急支援物資を栗原市に輸送



栗原市役所に到着した支援物資

### ■その他の対応

- 3/15～振替休日体制、3/23～休業体制、1直化、残業ゼロ化等
- 雇調金申請、特別融資制度導入
- 仕入先説明会実施、つなぎ融資制度再導入
- 緊急利益対策：経費削減、投資削減、労務費削減等
- 輪番操業に伴う夏期（7～9月）の休日変更、節電・省エネ活動



東北工場社員  
“和”と“絆”

# 5-2 危機管理対応

3月に発生した東日本大震災での経験をふまえ、「**想定**」「**初動**」「**訓練**」の3項目を軸に対処を進めている。

## ■ サプライチェーンのリスク分散

原材料・部品のサプライチェーン(2次以降)の再調査、リスク再評価と代替必要対象品のリストアップを実施。

## ■ BCPの策定

地震などの自然災害の発生や、新型インフルエンザ感染などの緊急事態に備え、事業継続のための方法、手段の策定を実施。

## ■ 全社一斉防災訓練の実施(10月)

防災訓練の事前に、地震発生から避難までの一連の対応について、各職場で自己診断を実施し、組単位で「自職場防災避難マップ」を作成。



当社の取組が掲載された新聞

## 5-3 中国事業の拡張

### ■ 中国合弁子会社の設立

急速に拡大する中国の自動車生産需要の対応するため、中国中南部地区に新たな生産子会社を設立

- ・会社名 : 長沙太平洋半谷汽車部件有限公司
- ・所在地 : 中国湖南省長沙経済技術開発区
- ・資本金 : 1,800千米ドル
- ・事業内容 : 自動車用プレス部品の製造・販売
- ・設備稼働時期 : 2012年7月(予定)
- ・出資会社 : 太平洋グループ 47%(日・台・中)  
半谷製作所 47%(三菱自動車T1)  
メタルワン 6%



### ■ 天津太平洋汽車部件有限公司の現地自動車メーカーとの取引開始

中国における更なる事業の拡大および多客化を推進するため、地理的にも近隣のローカル自動車メーカーと取引を開始

- ・取引先 : ローカル自動車メーカー
- ・製品納入開始 : 2013年3月(予定)
- ・取引製品 : 自動車用プレス製品

## 5-4 北米子会社の事業拡充

### ■カチオン電着塗装設備の導入

プレスから塗装までの一貫生産ラインを整備し、競争力の強化を図る

- ・投資額 : 2百万US\$
- ・稼働開始 : 2012年5月(予定)
- ・対象製品 : 自動車用プレス製品

### ■日系自動車メーカーとの取引拡充

北米における更なる事業の拡大および多客化を推進するため、地理的にも近隣の日系メーカーと取引を拡大

- ・取引先 : MMNA
- ・製品納入開始 : 2012年7月(予定)
- ・取引製品 : 自動車用プレス製品
  
- ・取引先 : SIA
- ・製品納入開始 : 2014年6月(予定)
- ・取引製品 : 自動車用樹脂製品



Pacific Manufacturing Ohio Inc.

# 5-5 TPMSの状況(1)

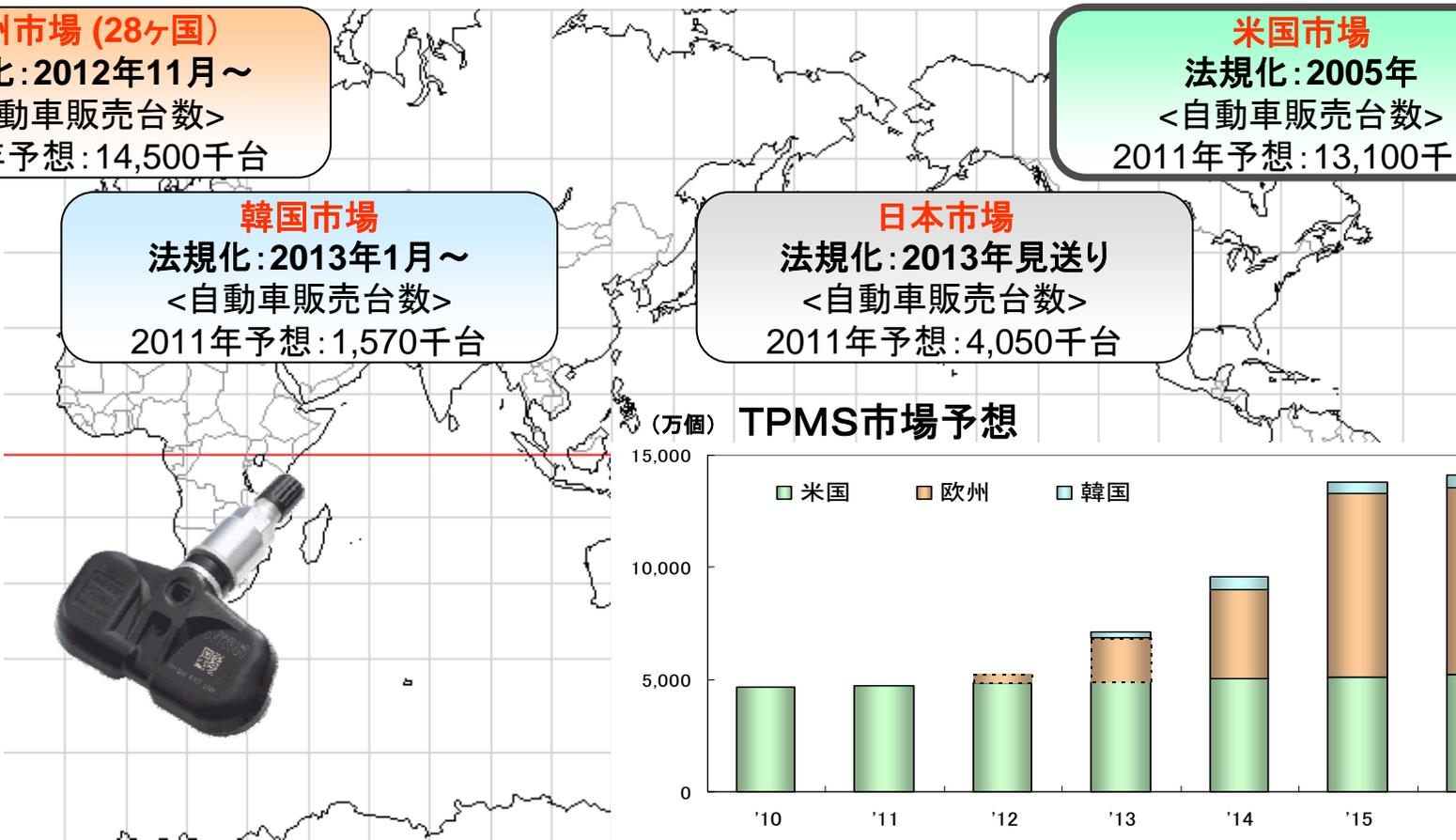
## ■次世代バルブ“TPMS”の今後の状況

**欧州市場 (28ヶ国)**  
 法規化: 2012年11月~  
 <自動車販売台数>  
 2011年予想: 14,500千台

**米国市場**  
 法規化: 2005年  
 <自動車販売台数>  
 2011年予想: 13,100千台

**韓国市場**  
 法規化: 2013年1月~  
 <自動車販売台数>  
 2011年予想: 1,570千台

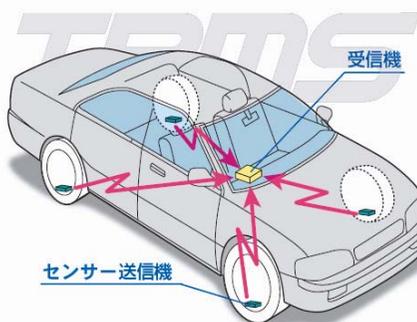
**日本市場**  
 法規化: 2013年見送り  
 <自動車販売台数>  
 2011年予想: 4,050千台



# 5-6 TPMSの状況(2)

## 国内アフターマーケット向け、TPMSキット発売

- ・燃費悪化防止
- ・CO2排出量削減
- ・タイヤ偏磨耗抑制



**こんなにマイナス! タイヤの空気圧が低下すると...**

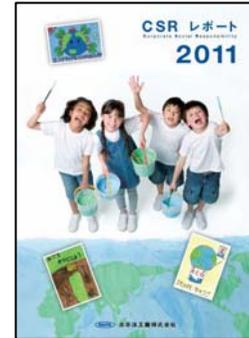
<p><b>燃費が悪化</b></p> <p>タイヤの空気圧が適正值より不足すると走行燃費が悪くなります。</p> <p><small>空気圧50kPa不足の場合 (車両: 総重量2000ccの乗用車) 出典: 自動車エネルギーセンター-JAF</small></p> <p>■燃費の悪化率</p> <table border="0"> <tr> <td>2.5%</td> <td>4.3%</td> <td>4.8%</td> </tr> <tr> <td>市街地</td> <td>郊外</td> <td>高速道路</td> </tr> </table>	2.5%	4.3%	4.8%	市街地	郊外	高速道路	<p><b>タイヤが劣化・損傷</b></p> <p>空気圧が低下すると、タイヤの負荷能力が低下。異常発熱による劣化や摩耗が早く生じ、タイヤ寿命が短くなります。</p>
2.5%	4.3%	4.8%					
市街地	郊外	高速道路					
<p><b>走行安全性が低下</b></p> <p>空気圧が低下すると、偏磨耗により走行安全性が低下。運転が不安定になり危険が生じます。</p>							

## 北米アフターマーケット市場にTPMS投入

- ・2001年の上市から10年
- ・電池寿命切れ対応

## 5-7 CSR活動

### ■ CSRレポート2011発行(CSRの取り組み開示)



### ■ 女子ソフトテニス日本リーグ昇格

- ・2012年「ぎふ清流国体」強化指定
- ・「ぎふ清流国体」オフィシャルスポンサー



### ■ CO<sub>2</sub>削減と社会貢献活動

#### 「太平洋里山の森」活動

